



イメージキャラクター「くりりん」

かしこく なかよく げんきよく

葛葉だより

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/kuzumaki/>

E-mail kuzumaki@mitsuke-ngt.ed.jp



令和6年6月21(金)
見附市立葛巻小学校だより

Tel 0258-62-0689

Fax 0258-63-5017

No.364



5年生 プール清掃



全校 アリスの会読み聞かせ

1学期のゴールに向かって

校長 白井 敦

雨の季節を迎え、少しジメジメした空気に覆われる日々がやってきました。人間にとってはうっとうしい雨でも、畑の作物や田んぼの稲にとっては、この後の収穫を左右する大切な雨。今年も人々の生活が困らない程度に降ってほしいと願うばかりです。

学校ではここまで順調に学習活動が進んでいます。主要教科の学習をはじめ、生活科や総合的な学習も活発になっています。やはり感染症をあまり気にせず屋外で活動したり、体験したりできるようになったことが良い影響を与えています。本当にありがたいことです。気付けば6月も下旬。1学期も残り4週間ほどとなりました。いよいよ1学期のゴールに向けてパワーアップしていく時期の到来です。学校では、子どもたち一人一人に成就感や達成感を実感させるべく、自己の振り返りや多少負荷のある活動を意図的・計画的に仕組んでいます。頑張って勝ち取った成果を認め称賛していこうと思っています。

私事ですが、加齢による筋力低下にわずかでも抗いたくて、週末にファストウォーキングやジョギングに挑戦しています。ウォーキングは時速7km弱、ジョグは時速10kmが速さの目安。距離は体調に合わせて4kmから6km。1時間以内に終わることが自分に課した課題。どちらも終わると足の筋肉がいい具合に張ります。スマホで保管した以前の記録と比べると自分の成長が分かります。もともと全身持久力がとても低かったため変化も大きいのでしょうか、ジョグは目標速度を達成するのに約1か月。4kmを休まず走り続けられるまでに約1月半でした。最近はまだ少しいけるかなと思っています。そんな時思い出したのが「ルーの三原則」。学生時代に習ったトレーニングの基本です。ドイツ人のヴェルヘルム・ルー博士が提唱した法則で、「筋肉は使わなければ衰え、適度に使えば維持・発達するが、過度に使うと壊れる」というものです。幸い私の体は筋肉痛以外大きな障害が起きていないことから、今のトレーニングは適度な負荷といえるのでしょう。

この法則はトレーニング以外の場面でも当てはまるような気がします。学習や習い事、心の成長など子どもの成長全般で応用できるのではないのでしょうか。少し頑張ればクリアできそうな課題提示が大切だと感じます。子どもたちの確かな成長を促すために、日々適度な刺激を与えていきたいと思っています。



葛巻小 HP URL

“みつけ Job チャレ教育” の紹介

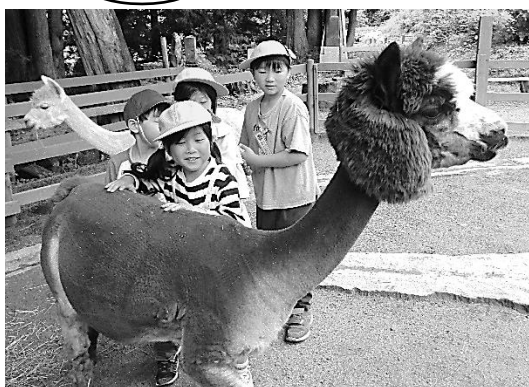
◆近年教育界で注目されている「アントレプレナーシップ」。子どもたちの「起業家精神」を伸ばそうという取り組みです。具体的には、チャレンジ精神や探究心といった「起業家精神」と課題発見・解決力やコミュニケーション力といった「起業家的資質・能力」を育むことをねらいとしています。

これらを受けて見附市では「みつけ Job チャレ教育」をスタートさせ、市内各校で取り組みを始めました。大事にしたいことは以下の4つです。

- 1 子どもが自ら課題を見つけること
- 2 子どもが実社会（地域）とつながること
- 3 子どもが不確実性の高い課題に挑戦し、失敗体験から学ぶこと
- 4 子どもが社会に新たな価値を提供すること

葛巻小学校でも、生活科や総合的な学習を中心にこれらの視点を取り入れた活動を行っています。各学年の活動を紹介します。

1 年 生



◆今年もアルパカとの触れ合いを通して、課題を見つけたり、友達と協力したりします。今月山古志のアルパカ牧場に出かけ、アルパカの愛くるしさに直接触れた子どもたち。次第に「みんなで飼いたい」という思いが膨らんでいます。

これから様々な困難や課題が生まれてくるかと思いますが、皆で知恵を出し合って乗り越えてほしいと願っています。

2 年 生

◆畑での野菜作りと市民の森での自然との触れ合いを1年間通して行います。ともに指導者をお招きし、より専門的な知識や技能を学んでいきます。最近は毎朝畑に出かけ、野菜の世話や成長を楽しんでいます。

これから、野菜作りの苦労や工夫、課題解決の方法と実践、自然の厳しさや恵の豊かさを感じ取ってくれたらと願っています。



3 年 生



◆見附のよいところ探しを年間のテーマにした3年生。すでに市内各所に出かけ、そこで働いている方と触れ合っています。見附市の新たな一面に触れ、自分たちの街に少しずつ興味がわいてきている様子です。

働く人々の姿を通して、働くことの喜びや苦労などを感じ取るとともに、ふるさと見附を大切に思う気持ちが育ってくれたらと願っています。

4 年 生

◆市内を流れる刈谷田川を教材に、見附にもたらした恵みや災いを知り、これからも住み続けられる街を目指した防災の方法を学んでいきます。まずは川の楽しさや豊かな恵みを実感する活動から始めました。

刈谷田川と上手に付き合いながら見附を発展させていくには何が大切なのでしょう。自分たちには何ができるのでしょうか。それらの疑問にみんなで立ち向かいます。



5 年 生



◆稲作体験を通して和食のすばらしさを知り、広くその良さを伝えようという活動が今年の5年生です。すでに料理人から出汁の旨みやとり方、JAの方から味噌づくりの指導、和菓子職人から和菓子の作り方を学んでいます。

和食の良さを皆が再認識し、日常的に取り入れることで米の消費が増え、最終的に生産者を支えることにつながります。年末には活動の成果を発表する予定です。

6 年 生

◆集大成の6年生は自分の将来を考えることが中心です。AIの発達で10～20年後には今ある職業の49%が無くなるといわれている時代。柔軟な発想で新たな価値（商品）を生み出す能力が必要です。

まず様々な職業の方と触れ合っている6年生。すでに市内のニット会社の経営者の方や工業団地の企業の方から出前授業を受けています。自らの未来を切り拓いていくための思考力や判断力を伸ばしたいと願っています。



🔗 ゴーヤーカーテンでエコな夏 🔗

◆6月13日（木）昼休みに、ゴーヤーの苗植えを行いました。多目的ホール（旧ランチホール）南側の窓にグリーンカーテンを作るためです。環境委員会が中心となって、「苗植えボランティア」を募ったところ、30人ほどが参加。賑やかなイベントとなりました。

今年も猛暑が予想されています。ゴーヤーカーテンを上手に活用して強い日差しを遮り、少しでも涼しい環境づくりと冷房費の節約に努めたいと思います。早く大きくなるといいな。



葛巻小 HP URL

